

1 単元名・教材名 「Let's make the fruits cake! フルーツケーキを作ろう！」

2 単元の目標

- 果物を表す表現に慣れ親しむ。 (知識・技能)
- 果物を表す表現や好きな果物について尋ねる表現を使って、友達や先生とコミュニケーションを図る。 (思考力・判断力・表現力)
- 果物を表す表現や好きな果物について尋ねる表現に関心を持ち、進んで友達や先生とコミュニケーションを図ろうとする。

(主体的に学習に取り組む態度)

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと 【やりとり】	イ 自分のことや身の回りのものについて、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

4 単元の評価規準 ※記録を残す評価

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〈知識〉活動するうえで必要な表現や語彙, What fruits do you like~? I like~.などを聞くことに慣れ親しんでいる。 〈技能〉活動するうえで必要な表現や語彙, What fruits do you like~? I like~.などの表現を聞き取る能力を身に付けている。	果物を表す表現や、数に関する表現, 好きな果物を尋ねる表現を使って、友達の好きな果物を聞いて、内容を捉えている。	果物を表す表現や数に関する表現, 好きな果物を表す表現に関心を持ち、友達の好きな果物の内容を進んで聞こうとしている。
話すこと 【やりとり】	〈知識〉活動をするうえで必要な表現や語彙, what fruits do you like~? I like~.などの表現について慣れ親しんでいる。 〈技能〉活動をするうえで必要な表現や語彙, what fruits do you like~? I like~.などの表現を伝え合う技能を身に付けている。	果物を表す表現や、数に関する表現, 好きな果物を尋ねる表現を使って、友達の好きな果物について尋ねている。	果物を表す表現や、数に関する表現, 好きな果物を尋ねる表現に関心を持ち、友達の好きな果物の内容を尋ねようとしている。

5 指導上の立場

(1) 単元観

本単元では、フルーツケーキを作る活動や、作ったケーキ相手に紹介する活動を通して、果物の名前や数に関する表現を用いて、What fruits do you like~? I like~.と尋ねたり答えたりすることや、How many~? It's~.と数を尋ねたり答えたりすることをねらいとしている。1年生と2年生は4月からピア・サポートにより、生活科の学校探検、サツマイモ畑作り、体育科の遊具遊びの仕方を共にしてきており、2年生は1年生の手本になりたいという思いを強めている。また、1年生は、2年生と一緒に学習することで、身近な手本を前に学びを深めてきている。本単元で行う活動は、2年生が1年生を先導しながらコミュニケーションを図ることのできる活動である。

本単元を通して、必要な表現や語彙に慣れ親しみ、様々な相手や場面において、英語でのコミュニケーション

ョンの経験を積むことで、自分たちが学んできたことを活かせる喜びを感じることができるようになりたい。

(2) 児童観

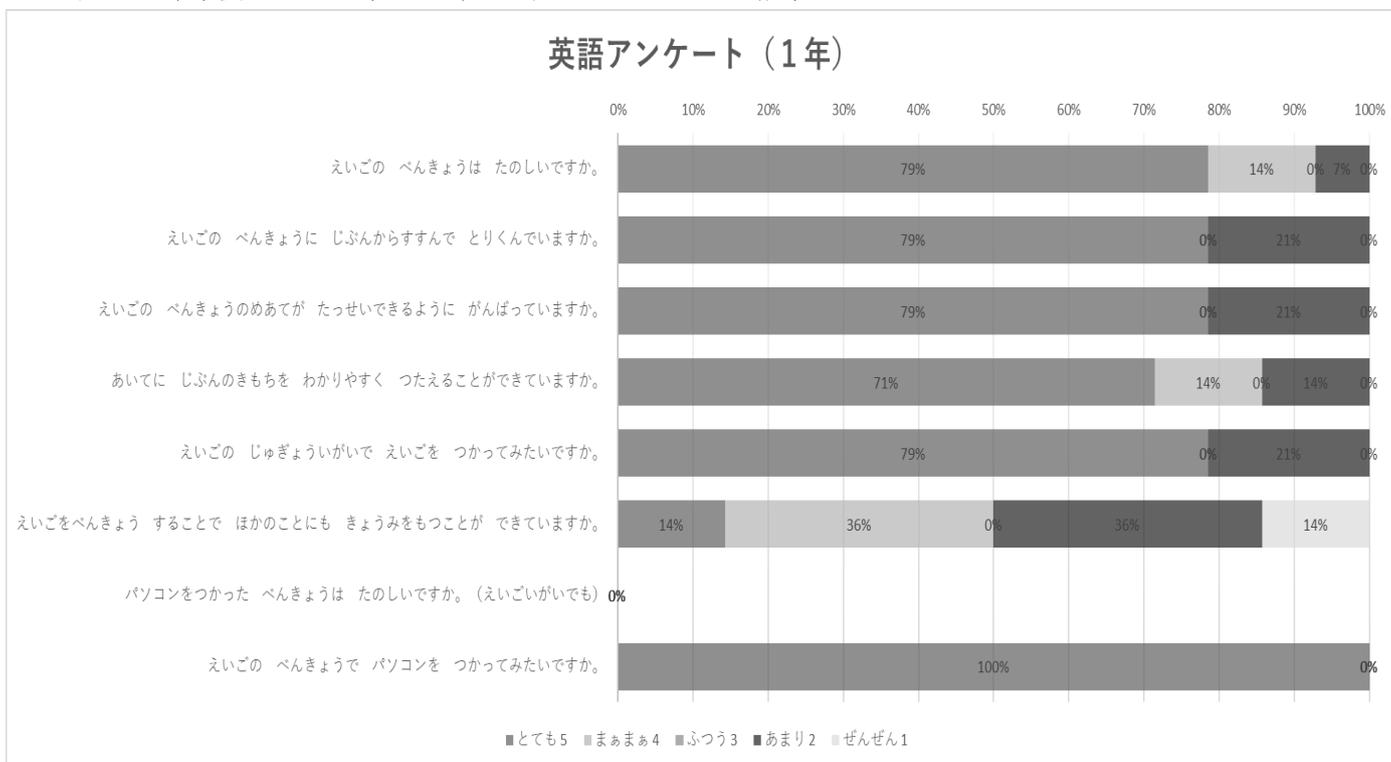
●1年生（男子10名 女子4名 計14名）

本学級の1年生は、活発で積極的な児童が多く、毎日元気いっぱい過ごしている。日々の学習でも、手を挙げて発言したり、どんなことにでも積極的に活動しようとしていたりする姿がたくさん見られている。一方、自分の考えを伝えたい気持ちが強く、友達の話を中心して聞いたり、友達の意見を受け入れたりすることがなかなかできない児童も数名いる。

また、外国語活動に関しては、積極的に身体表現をしながらコミュニケーションをとったり、英語の発音に親しんだりすることができる児童も多く、アンケートからも、約80%の児童が楽しく学習に取り組むことができている。一方で、英語に親しみをもてず、活動に参加しにくい児童も数名見られる。

本単元では、身近なお手本となる2年生と一緒に活動することで、自信がもてない児童も、やり取りを見たり聞いたりすることで、自信をもって活動に取り組めるようにしたい。また、「ケーキを作ろう」という興味がわく題材を取り入れることで、意欲的に学習に取り組めると考える。自分の考えや気持ちを英語で表現する中で、友達の考えを受け入れながら活動できるようにしたい。

※図1：今年度5月に1年生に対して行ったアンケート結果



●2年生（男子5名 女子4名 計9名）

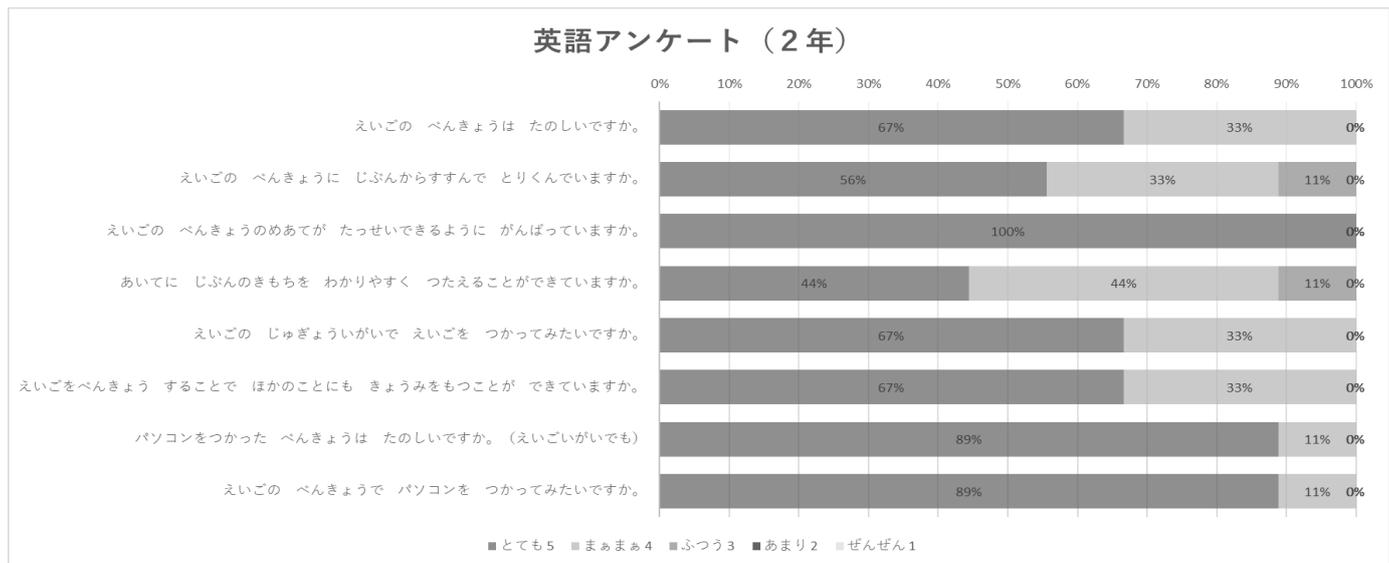
本学級の児童は、元気で明るい児童が多く、楽しい雰囲気です学校生活を送っている。学習では、積極的に発表することができる児童もいる一方で、消極的でなかなか自分の意見が言えない児童もいる。そのため、ペア学習やグループ学習などを多く取り入れている。ペア学習やグループ学習の時間を多く取り入れることによって、少しずつ自分の意見を言うことができる児童が増えてきている。

外国語活動の時間では、覚えた表現については堂々と発言することができている。一方で、自信がない表現については、声が小さくなる児童もいる。ゲームを通して繰り返し英語表現に慣れ親しませ、自信をもたせたい。

5月に行った英語アンケートの結果からは、英語の学習は楽しいと感じているが、英語を使って自分の気持ちを伝えることに対して苦手意識をもっている児童がいることが分かった。そのため、1学期には、ペアやグループでの活動や、スモールステップの単元設定により、簡単な英語を使って話すことへの自信をもたせるようにした。

本時でも、引き続きグループでの活動を取り入れることやスモールステップの単元設定により、より自信をもって英語でのコミュニケーションができるようにしたいと考えている。

※図2：今年度5月に2年生に対して行ったアンケート結果



仮説

- 1 目的意識や相手意識・必然性を感じる課題設定を考えることで、児童が主体的に学びに向かい、様々な事柄への見方・考え方を広められるようにするだろう。（新本オリジナル）
- 2 児童に到達してほしい姿を示し、課題においてどのような姿を目指すのかを、児童と教師の双方が理解しながら活動することで、「学びに向かう力、人間性等」を高めることができるだろう。
- 3 ICT 機器を授業の中で効果的に活用することで、学習動機や学習効果が高まり、主体的な学びやコミュニケーション能力の向上につなげるだろう。

1 について

1年生は、これまでに2年生と一緒に活動することにより、より活動が楽しいと思えたり、動きややり方を理解して、円滑に活動したりすることができている。そのため、英語での活動も一緒に取り組むことで、学習意欲や活動への期待感も一層高まるのではないかと考える。2年生は、発達段階として、「下級生の手本になりたい」「下級生に分かりやすく教えたい」という意識をもつ児童が多い。そのため、1年生と一緒に活動をすることで、自分の思いをわかりやすく伝えようとする意識が芽生えるのではないかと考える。

本時では、相手意識をもって、児童同士がピア・サポートしながら活動し、繰り返しやり取りをすることを通して、どの児童にも自分の英語が伝わった実感をもたせ、伝え合うための知識・技能を身に付けられるようにする。

2 について

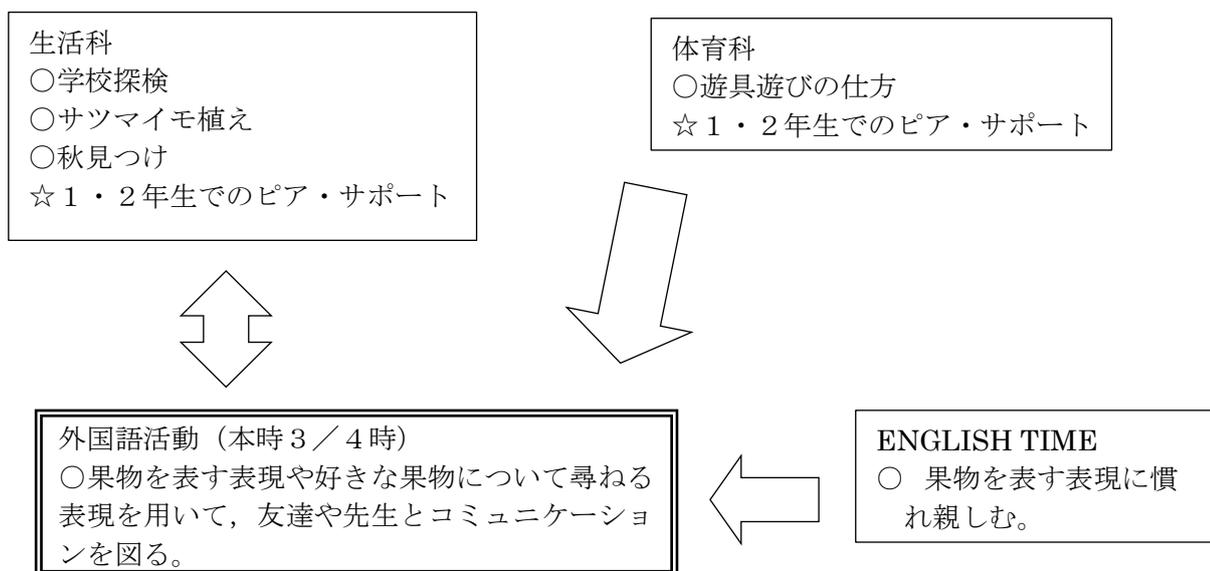
授業を主に進めるHRTと発音や発声の指導を行うALTで、それぞれの特徴を生かした役割分担をし、チームティーチングのよさを活かした評価をする。HRTが児童の実態を把握しながらサポートし、前時と比較してできるようになったことを伝え、ALTは、正しい発音や表現の仕方について繰り返し伝えていく。学習に入る前には、単元ゴールである1・2年生でフルーツケーキを作り、先生方に紹介する活動があることを示しておくことで、見通しをもって毎時間の授業に取り組むことができるようにする。また、事後

でワークシートに振り返りを記入することで、自分の成長を感じたり、教師からのコメントをもらって次時の意欲にもつながるようにしたりと、単元ゴールに向かって意欲的に取り組めるようにしたい。

3 について

本単元では、ミライシードのオクリンクやカメラを活用する。できたフルーツケーキを写真に撮り、テレビ画面に映し出すと、簡単に全体共有ができる。たくさんのグループの考えを共有することで、多様な考えに触れることができ、学習効果を高められると考える。

6 関連構想図



7 本時案

(1)本時のねらい

- ・果物や数に関する表現, 好きな動物を尋ねる表現を使って進んで友達とコミュニケーションを図ることができる。
- (1年生) 友達や教師のサポートを受けて答えることができる。
- (2年生) 自信をもって, 相手に分かるように伝えることができる。

(2)展開

学習活動	教師の指導・支援(●HRT, ▲HRT, ■ALT)	学習評価
<p>1 Greeting</p> <p>2 Aim</p>	<p>●■英語で挨拶をした後, 気分や天気, 曜日, 日付, 好きなものなどについて尋ねることで, 日常的に使える英語表現に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>●本時では,1・2年生と一緒に活動することを改めて伝え, それぞれのめあてを確認することで, 意欲的に学習に取り組めるようにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 200px;"> <p>1年生 いままでなかったことをつかって</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 200px;"> <p>2年生 1年生をサポートしながら</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Aim みんなのすきなくだものをつかって, フルーツケーキを作ろう。</p> </div>	
<p>3 Review</p>	<p>■果物・数を表す英語表現を復習できるようにする。</p> <p>●児童と一緒に発音することで, どの子も自信をもって言えるようにする。</p> <p>●習った語彙や表現を使って仲間探しゲームをすることで, 次の活動に向けて緊張をほぐしたり, 活動への意欲を高めたりする。</p> <p>●▲■困っている児童がいたら, 近くで一緒に声を出したり, 様子を見て, 声を掛けたりして, 活動に参加できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>A What fruits do you like? B I like ~. →好きな果物が同じ人同士で集まる。</p> </div>	
<p>4 Activity</p> <p>・ケーキ作り (前半)</p> <p>・中間交流</p>	<p>▲デモンストレーションをして見せることで, 見通しをもって活動できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A What's fruits do you like? B I like ~. A How many? 好きな果物と入れたい数を聞き, ケーキを完成させる。</p> </div> <p>▲班で活動することを伝え, 活動に期待を持てるようにする。</p> <p>▲■困っている児童に声を掛けたり, 一緒に発音したりするなどして, 活動する。</p> <p>▲話し合いの際に気を付けたことを全体で確認し, 後半</p>	<p>◇好きな果物を尋ねる表現, 数を訪ねる表現を使って1・2年生同士でコミュニケーションを図っている。【思考力・判断力・表現力】(行動観察・振り返りシート) (1年生)友達や教師のサポートを受けて伝える。 (2年生)自信をもつ</p>

<p>・ケーキ作り (後半)</p> <p>6 Comment time</p>	<p>の活動へつなげるようにする。 ・話し方 ・アイコンタクト ・ジェスチャー</p> <p>▲中間交流で確認したことを意識しながら活動することを伝えることで、より良い話し合いができるようになる。</p> <p>▲作ったケーキを写真に撮っておくことで、次時の活動につなげることができるようにする。</p> <p>▲自分の頑張りを振り返るとともに、相手の学年がどのような思いをもって活動していたのかを知ることができるようにする。</p>	<p>て、相手に分かるように伝える。</p>
	<p>・習った英語を使ってみんなでケーキを作ってうれしかった。</p> <p>・2年生と協力して作れたのが楽しかった。</p> <p>・〇〇さんは、△△が好きだと分かりました。</p>	
<p>7 Greeting</p>	<p>■発音や話し方についてよいと思ったことや次時への課題を伝えることで、次時への意欲を高められるようにする。</p> <p>●1年生の姿でよいと思ったことを称揚することで、本時の学習への達成感を得られるようにする。</p> <p>▲2年生の関わりでよいと思ったことを称揚することで、次時への意欲を高められるようにする。</p> <p>●▲気持ちのよい挨拶をすることで、次時への意欲を高めることができるようにする。</p>	

3) 板書計画

